



譜代大名が次々と藩主になった唐津藩

現在の佐賀県には、江戸時代、佐賀藩(支藩などを含む)や唐津藩、対馬藩の飛び地、幕領ばくりょうがありました。それ以前の戦国時代に唐津地域で大きな勢力を持っていたのは松浦党まつらとうの波多氏はたしでしたが、豊臣秀吉によって領地を没収されてしまいます。

その後寺沢てらさわひろたかひろたかが唐津藩主となりますが、2代堅高かた たかの死により寺沢家は断絶します。一時幕領となつたのち、大久保、松平、土井、水野、小笠原の譜代大名が次々と藩主となりました。その中には、天保の改革で知られる水野みずのただくにただくになどもあります。